

令和5年度
第2回柏市立図書館協議会

資料

令和5年12月18日(月)

柏市立図書館

次 第

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 令和5年度主要事業報告(8月から11月)
- 4 視察報告
- 5 協議
- 6 閉会

目 次

1	柏市立図書館協議会委員名簿	1
2	柏市教育委員会 出席職員名簿	2
3	令和5年度主要事業報告(8月から11月)	3
4	協議	8

1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和5年12月1日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育関係者	いわた くみ 岩田 久美	高柳西小学校長	
2	〃	ささま ひろみ 笹間 ひろみ	柏市学校図書館コーディネーター	
3	社会教育関係者	はむら たいが 羽村 太雅	一般社団法人サイエンスエデュケーションラボ理事長	
4	〃	みやじま きりえ 宮島 衣瑛	一般社団法人CoderDojo Japan 理事	
5	〃	たかはし ふみなり 高橋 史成	社会福祉法人柏市社会福祉協議会 地域福祉課長	
6	〃	はやかわ さきこ 早川 沙希子	教育系出版社編集部	
7	〃	たかだ りゅうせい 高田 竜成	芝浦工業大学学生	
8	家庭教育の向上に資する活動を行う者	はちやま みさと 八山 美里	合同会社EDGE HAUS 奥手賀ツーリズム チーフディレクター	
9	学識経験者	たんま やすひと 丹間 康仁	千葉大学准教授	副会長
10	〃	ささき ひでひこ 佐々木 秀彦	公益財団法人東京都歴史文化財団 アートカウンシル東京 企画部企画課長	会長
11	〃	しもひごし かな 下吹越 香菜	アカデミック・リソース・ガイド株式会社 取締役	
12	その他	つは さやか 津波 さやか	公募委員	

(敬称略)

任期：令和5年6月1日から令和7年5月31日まで

2. 柏市教育委員会 出席職員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	生涯学習部	部 長	宮島 浩二
2	図書館	館 長	坂口 園子
3	〃	統括リーダー	柳川 行秀
4	〃	副主幹	千田 雅之
5	〃	副主幹	芦澤 慎二
6	〃	主 査	大野 真奈
7	〃	主 査	大里 祥子
8	〃	主 事	三石 瑠奈
9	生涯学習課	課 長	沖本 雅樹
10	中央公民館	館 長	牧野 共子
11	文化課	課 長	田口 大

3. 令和5年度主要事業報告

1 地域情報拠点化事業

(1) 「風早南部かるたコーナー」設置(高柳分館)

令和5年10月に高柳分館の「地域情報コーナー」の更新を行い、「風早南部かるた」と関連資料の紹介をしています。

「風早南部かるた」とは、地域の歴史・文化・自然を次世代に伝えることを目的に作成されたご当地かるたです。

令和2年8月に地域住民と行政・社会福祉協議会によるプロジェクトチームを立ち上げ、製作を開始しました。地域の小中学校を中心に絵札・読み札を募集し、厳選した46枚を用いて、令和5年6月に完成しました。

風早南部地域の小学校では、実際にかるたの題材となった場所へ遠足に行き、地域の歴史を学ぶ手段の一つとなっています。

「風早南部かるた」は貸出も行っており、夏休みにはこども図書館にてかるた大会を行いました。今後も当該コーナーを通じて、積極的にかるたの活用を促していきたいと考えています。



(2) 「ますおのむかしばなしコーナー」設置(増尾分館)

令和5年8月に増尾分館の「地域情報コーナー」の更新を行い、柏市観光協会作成「柏のむかしばなし」から増尾地域のむかしばなしをパネルにしてマップや関連資料と一緒に紹介しています。また、増尾民話の里づくりプロジェクトから活動資料の寄贈を受け、コーナーに展示しています。

なお、民話の里づくりプロジェクトメンバーは土小学校の6年生と「民話の里」の看板の作成や、芝浦工業大学柏中学高等学校の文化祭にて巨大紙芝居による増尾の民話ライブなど、学校と地域が連携した活動を行っています。



- (3) 「柏の学校Ⅱ みんなの小学校」をミニ歴史写真展
文化課主催の写真展「柏の学校Ⅱ みんなの小学校」
が、令和5年6月にパレット柏市民ギャラリーで開催
されました。

図書館では、文化課と連携し、令和5年11月1日
から令和6年1月16日まで対象となった学校近くの
図書館本館・分館15館に分けて展示を行っています。
地域の皆さまと、明治初期から戦中の校舎や授業風景、
児童の様子を古写真から振り返ります。



2 学校支援・連携事業

(1) マンデーライブラリーラボ

夏休み期間中の図書館休館日となる令和5年7月31日（月）に、小学生を対象に科学をテーマとした次の講座を開催しました。講座の中では、図書館資料を参照することで、本を活用する機会を作りました。

初めて図書館本館に訪れたという小学生が8名おり、図書館利用のきっかけづくりとしても、今後も事業を続けていきたいと考えています。

○「野菜で電池をつくろう！」

講 師：宮本 千尋 氏（手作り科学館 E x e d r a 副館長）

参加者：21名

○「チリメンモンスターを探そう！」

講 師：沼南高校科学部（科学部部員 6名参加）

参加者：12名

(2) 夏休み調べもの相談カウンター

夏休みの期間中の令和5年7月22日から8月4日まで、本館のこどものへやにレファレンスカウンターを設置し、本館職員と学校図書館指導員がペアとなり、利用者からの質問等に対応しました。

昨年度の「前半期」＋「後半期」に分けての開設では、後半期の利用者が少なかったことから、今年度はカウンターの開設時期を前半集中型に変更しました。今後も改善を行いながら事業を進めていきます。

○相談受付件数 43件

(3) おびコレ2023

子ども司書がおすすめ本にオリジナルの帯をつける『おびコレ2023』の展示を、令和5年7月25日から9月2日まで本館で、その後、9月26日から10月10日まで学校近くの分館で実施し、27校から116作品の参加がありました。展示の後、帯付きで貸出も行いました。

(4) 市内中学生ビブリオバトル

市内公立中学校の代表者によるビブリオバトルを開催しました。4日間の予選はオンラインで開催し、決勝戦は、10月22日にパレット柏オープンスペースで行いました。

- 参加者 14校から14名
- 観覧者 33名



(5) 田中スタンダード本展示

田中分館では、令和5年10月27日から11月9日まで9冊の田中スタンダード本の展示を行いました。

田中スタンダード本とは、田中中学校区4校の教職員が選定した、小中学生の子どもたちに読んでほしい本です。

3 その他連携事業

外部団体が企画する様々なイベントに協力することは、図書館や本との新たな接点を生むことにつながると考え、積極的に外部団体との連携を行います。

(1) のぞいてみよう！みんなの本棚

【主催：kamon かしわインフォメーションセンター】

令和5年11月23日（木）から12月26日（火）までセンター内で『のぞいてみよう！みんなの本棚』を開催しており、市内で活躍する18名の方から推薦された多様な本が展示されています。図書館は展示に使う73冊の本を貸し出し、企画に協力しました。

(2) 職場体験・まち探検の受入れ

今年度は11月末までに、中学生の「職場体験」を2件、小学2年生の授業で行われる「まち探検」を15件、本館や分館で受け入れました。

(3) わくわく人形劇まつり

【主催：柏子どもの文化連絡会・柏市中央公民館】

令和5年11月26日にラコルタ柏にて行われた「わくわく人形劇まつり」に図書館も参加し、職員による絵本の読み聞かせ及び手あそびを、83名の方にご覧いただきました。また、3階のオープンスペースでは、絵本の展示も行いました。

4 スマート登録申請状況（5月19日から11月30日まで）

申請件数合計	530件
・新規登録	394件
・再発行	14件
・有効期限更新	106件
・登録内容変更	13件
・利用券番号忘れ	1件
・電子図書館パスワード忘れ	2件

5 電子図書館サービスの利用状況

○タイトル数（12月1日現在）

12,030 タイトル ・一般書 10,788（うち青空文庫 7,745）
・児童書 1,242

○利用状況（1月24日から11月30日まで）

貸出回数 21,734回（内児童書 10,590回）

実利用者数 2,445人

○利用傾向（1月24日から11月30日まで）

- ・児童書の貸出冊数が全体の49%
- ・6歳～12歳の利用が全体の23%，40代の利用が21%
- ・小学生と子育て世代が児童書を多く利用している

6 高田分館臨時窓口の利用状況（貸出冊数）

9月 1,128冊（5,980冊）
10月 1,251冊（6,259冊）
11月 1,301冊（6,305冊） ※カッコ内は前年同月

7 クラウドファンディングの実施

令和5年7月14日から開始した、プラネタリウム投影機のオーバーホール（大型修繕）に係る*ガバメントクラウドファンディングは、8月2日に、45名のご支援により、目標金額の100万円を達成しました。

このクラウドファンディングは、7月29日の東京新聞で報道されるなど、プラネタリウム事業のPRにもつながったものと考えています。

なお、オーバーホールは2月に実施し、3月から投影を再開する予定です。

*ガバメントクラウドファンディングは、ふるさと納税制度を利用した自治体向けのクラウドファンディングです。

8 人材育成

司書資格を有する職員の育成のため、聖徳大学の司書講座へ当館職員1名を派遣しました。令和5年7月19日から9月9日まで当講座を受講し、司書資格を取得しました。

4. 協議

「こども図書スペース」の選書について

1 事業計画（案）の振り返り

(1) 安全・安心な放課後等の「居場所」の提供

- 対象は、小学生を中心に、未就学児やその保護者。5階の中高生等の居場所との連携を想定
- 来場へのハードルが低く、一人で居ても気にならない
 - ⇒ 土日開場，入りやすい雰囲気，顔なじみの職員，一次的な相談支援機能

(2) 「本との接点」の提供

- 貸出は行わず，読みたい本がいつでもあり，好きな場所で読むことができる
 - ⇒ 図書館・学校図書館との差別化，好きな姿勢で読めたり籠れるエリアなど多様な読書空間を演出，本好きが集まる仕掛け
- 未就学児と保護者に向けて，親による読み聞かせ，おはなし会，定番の絵本や近年人気の絵本を配架
 - ⇒ 親子のきずなを深める，子どもが社会性を身につける，子どもが自ら本を選ぶ経験をする，親同士のつながりを促す

(3) 「遊び」を通じた「学び・交流・創造」の機会創出

- 子どもたちにとって「遊び」と「学び」は一体的なもの，遊びや体験活動から子ども同士の交流が生まれる
 - ⇒ 子どもの主体的な行動を引き出す仕掛けづくり，学びのきっかけづくり

(4) 他フロアとの連携

- 施設内各フロアの利用者同士の交流を促し，異年齢間でのつながりが広がるような取り組みを検討

2 「こども図書スペース」に置きたい本について

(1) 資料2「こども図書スペースに置きたい本のイメージ」

(2) こども図書スペース資料取扱方針（案）

（目的）

本と触れ合う機会の創出

（基本方針）

1. 図書館や学校図書館の本棚にない人気の本を提供する
2. 貸出を行わない
3. 子どもの声を選書に反映させる
4. 本に興味を持ってもらうために面出しを多用するなど、排架や展示方法を工夫する
5. 他フロアにも本棚を設置し、本との接点を増やす

（考慮するポイント）

- ・予定する蔵書数は全部で 5,000 冊。優先順位を付けた選書を行う
- ・図書館や学校図書館では、人気の本は常に貸出中で本棚にない。こども図書スペースでは、図書館や学校図書館に行っても読むことのできないこれらの本を提供する
- ・マンガで表現されている本などが子どもたちに人気だが、図書館や学校図書館では、選書方針により置いていなかったり、優先順位が低い本がある。こども図書スペースでは、図書館や学校図書館で所蔵していない本を提供する
- ・絵本については、定番の絵本と近年出版された人気・話題のものを提供する

3 ご意見やご提案を伺いたいこと

こども図書スペースは、図書館や学校図書館と差別化を図ることにより、ここにしかない場所を目指します。

このことから、こども図書スペースに置きたい本は、図書館や学校図書館の本棚にない本（①予約が多く、常に貸出中の人気本②マンガなど人気はあるが所蔵していない本）を優先したいと考えています。

①については、図書館や学校図書館の図書システムから人気本のランキングを調べることで、その上位本を選書したいと検討しています。一方で、②の本は①のような選書の仕方はできません。

そこで、「②のような本の選書方法」について、ご意見やご提案をお伺いします。